

## INTERVIEW

鹿児島赤十字病院 内科部長・医療社会事業部長  
永井慎昌先生



# 離島医療, 何ものにも代え難い その豊かさに魅せられて

聞き手：山田隆司 地域医療研究所長

## 23年間の離島への貢献が評価されて

山田隆司(聞き手) 今回は鹿児島赤十字病院の永井慎昌先生にお話を伺います。永井先生はこの度、第67回 保健文化賞を受賞されました。永井先生、ご受賞おめでとうございます。社会的貢献が大きい人たちに送られる賞ということで、卒業生として誇らしいことだと思います。

先生には10年ほど前に地域医療振興協会創立20周年式典で講演していただき離島への巡回診療のお話を伺いましたが、あの席には協会と関連のある市町村の首長さんたちがいらして「自治医大の卒業生はすごいことをやっているんだなあ」と感心されていました。

永井慎昌 十島村の住民がここは日本一不便だと言っているのですが、日本一というのは確かに目立つのだと思います。

山田 鹿児島県の離島の巡回診療を継続されて行ってきたということが、今回の受賞につながったわけですが、今回その現状をお聞きし、自治医科大学の卒業生のこれからにつながるようなお話を伺えればと思います。よろしくお願いします。

まずは先生の経歴からお話いただけますか。

永井 私は昭和61年卒業の9期生です。そのころは6月採用だったので、国家試験の合格発表後の6月から1年9ヵ月ぐらいを鹿児島大学病院で研修しました。それから県立北薩病院で1年勤務、いわゆる実務研修です。その次にはもうへき地勤務になるという状況で、<sup>こしき</sup>甑島の鹿島診療所へ赴任。現在は合併して、薩摩川内市になっていますが、当時は甑島に4つの村があり下甑島に鹿島村と下甑村があって、私が行ったのは

鹿島村でしたが、下甌村に有名なDr.コトーのモデルになった瀬戸上健二郎先生がいらっしゃいました。その瀬戸上先生が手術をする時に、人手が足りないからと呼んでいただいて手伝ったり、そういう経験もあります。

**山田** 鹿島診療所にはどのくらいおられたのですか。

**永井** 本来はローテートで2年のはずでしたが、県のほうに入ってくる人数が不規則で、急遽、1年で先に研修に行きなさいということになり、平成2年に当時の自治医科大学附属大宮医療センター(現 さいたま医療センター)に行き、1年間、大宮医療センター総合診療医学2という外科の講座で研修しました。その次の年がまたちょっと変則的で、公的病院という枠だったのですが、へき地に1年しかいなくて研修に出たということで、鹿児島赤十字病院に勤務することになりました。

その後は県立北薩病院の外科へ2回ほど行きましたが、それ以外は赤十字病院に勤務し、義務が終わった年に赤十字病院に就職しました。平成3年からなので、足掛け24年間関わっていることになります。経ってしまうと早いですが、改めて今回、自分でもこんなにやっているんだと思いました。年を取るはずですね。

**山田** 赤十字病院では外科に所属しているのですか？

**永井** 内科です。今は内科部長という肩書きですが、私のイメージでは総合診療部的な部門だと思っています。鹿児島赤十字病院は元は結核病床の病院で、鹿児島市の外れにある120床の病院で、リウマチ膠原病センターを銘打っているのですがその患者は集まりますが、リウマチ・膠原病と整形外科以外はあまり専門の部門がないので、内科というのはその専門の先生たちが診ないものが全部回ってくる科です。

**山田** 120床ということは比較的小さい病院ですよね。赤十字病院というと大きい病院をイメージ



第67回 保健文化賞 贈呈式 平成27年10月6日

しますが。

**永井** そうですね。赤十字病院というと、皆さん、大きい病院をイメージされますが、実は中小病院もたくさんあって、現実につぶれてしまう病院もあります。

**山田** 大宮医療センターには外科の研修で行かれたわけですよね。帰ってきて外科を続けたいとは思わなかったのですか。外科の研修をして帰ってきたのに、行き先は外科のない病院で。

**永井** 特にこだわりはなかったですね。「内科の診療科で勤務する時に外科の知識もあると役立つぞ」ぐらいに思ったのを覚えています。

**山田** はじめに赤十字病院に赴任した時から離島診療に従事したのですか。

**永井** 義務年限内で赤十字病院に勤務するというのは、三島村と十島村の診療所を担当するために赤十字病院に派遣されるのです。病院には親元的にいますが、離島診療を主に行っていました。だから月に2回か3回、離島に2泊3日か3泊4日で行くので、病院にはちょっといる……という感じでしたね。

**山田** つまり赤十字病院は義務内のへき地勤務ということなのですね。義務年限が明けたあとにも赤十字病院に行くことにしたのはどうしてですか。

**永井** 平成8年に義務が明けた時は北薩病院の外科にいました。その前の年には赤十字病院にいて、最後の年に北薩病院に行くにあたって、当時の